（中学校・社会）科　学習指導案

指導教官　　中　善則
指導者　　村瀬　優希

１．日　時　　2021 年 1 月 28 日（木）　（13 時～14 時 30 分）

２．場　所　　（　　惺々館 202　　）

３．学年・組　　（３年）

４．単元名　　終章　私たちにできること

５．単元目標

社会の出来事に目を向け、自分の考えを持つとともに、自分たちにできることを考える。

６．教材観・単元観

本単元は、中学校三年生の社会科（公民）の終章に位置づけられている。今までの授業では、日本の仕組みや出来事を中心に扱い、「より良い社会にするために」という視点で、制度の仕組みや私たちの役割について、議論を行い、自分事として社会の問題に目を向けてきた。しかし、社会の状況は日々変わり続けていくものであり、新しい情報や出来事にも目を向け、自分なりの考えを持つことが大切である。

今日では、技術革新や科学技術の進歩により私たちの生活は便利になるとともに、グローバル化により外国との交流も活発になっている。しかし、これらの革新により大気汚染の広がりや地球温暖化などの多くの諸問題を引き起こしている。さらに、経済の発展に伴う格差や貧困問題、限りある資源の枯渇化などの問題は深刻化しており、世界規模での早期解決が求められている。

このような状況に対して問題意識を持つとともに、「持続可能な社会」の実現・発展が重視されており、国際連合でも「SDGs（持続可能な開発目標）」という 2016 年から 2030 年までの国際社会共通の目標を定め、先進国も発展途上国も含めて取組を行っている。持続可能な社会とは「地球環境や自然環境が適切に保全され、将来の世代が必要とするものを損なうことなく、現在の世代の要求を満たすような開発が行われている社会」であり、「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂制のある社会」の実現を目指している。17 個の目標と 169 個のターゲット、232 個の指標が決められており世界各国の協力のもとで、実現に向けて、世界各国で様々な活動がなされている。

この単元では、「誰一人取り残さない持続可能な社会」の実現に向けて、今までに習ってきた、歴史や地理、公民での学習を通して身に付けた様々な見方や考え方を活かして、より良い社会にするための課題と解決策を考えさせる。そのために、SDGs の 17 個の目標の観点が、自分たちとどのように関わっているのかを知り、現代社会で起きていることから問題点や課題を見つけ、「誰一人取り残さない社会」の実現に向けて、自分たち（一人一人）ができる解決策を考えさせる。その中でも、SDGs は国際社会共通の目標であることから、自分や日本国内のことだけを問題視するのではなく、海外の出来事や、世界情勢などの視点も必要であることを理解させる。SDGs や「持続可能な社会」についての基礎知識（国連の取り組みや社会の動向など）を身に付けたうえで、現代社会の様子を把握するために、新聞を活用して適切に情報を読み取るとともに、課題を見つけ、自分たちでできる解決策を探していく。その後も新聞を活用して、グループワークやまわしよみ新聞の作成、発表を行い、他者の意見を聞くことで、新たな視点で社会（世界）の様子を見ることのできる力を養っていく。そして、新聞から読み取ったり、他者の意見を聞いたりしたうえで、「誰一人取り残さない社会」の実現に向けて、一人ひとりが問題意識を持つとともに、その問題を解決するために自分たちができること考えさせる。

７．生徒観　　（ここは省略します。）

８．単元の評価規準➡中学は 2021 年、高校は 2022 年から　３領域に変わります。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察している。	・よりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、自分の考えを説明しようとしている。	・私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

９．単元の指導と評価の計画（全 9 時間）

1、「持続可能な社会」に向けての取り組み（授業プリントNo.1）
2、現在の社会を予想しよう（授業プリントNo.2）
3、新聞から読み取る SDGs(本時）（授業プリントNo.3）
4、課題を解決するために①(本時）（授業プリントNo.4）
5、課題を解決するために②（授業プリントNo.4）
6、さまざまな視点で新聞記事を読み解こう（授業プリントNo.5・No.6）
7、未来に向けての取組①～まわしよみ新聞の作成～（授業プリントNo.7）
8、未来に向けての取組②～まわしよみ新聞の発表～（授業プリントNo.8）
9、私たちの SDGs（授業プリントNo.9、提案書）

※中学校で授業を行う場合は、右の計画で行いますが、今回の模擬授業では、3 時間目と 4 時間目を併せて行います。

１０．本時の展開

(1)　本時の学習内容

新聞を活用して、今日の社会問題に気づくとともに、SDGs を達成するために、自分たちにできることを考える。

(2)　本時の目標

「誰一人取り残さない社会」にするために、私たちができることを考えよう。

(3)　本時の評価規準

・よりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、自分の考えを説明しようとしている。
（思考・判断・表現）

(4)　本時の学習過程

時間	学習内容	形態	学習活動	指導上の留意点 評価規準・評価方法
5分 導入		一斉		・挨拶、出欠確認 ・宿題の確認
	・現在の社会の課題を確認する。	一斉	・前時のプリントを使って、社会で問題になっている課題を思い出す。	
	・SDGs の 17 の目標を確認する。	一斉	・前時のプリントを使って、17 の目標を思い出す。	

70分 展開	「誰一人取り残さない社会」にするために私たちにできることを考えよう。			
	・本時の内容を理解する。(5分)	一斉	・ワークシートを使って本時の内容を理解する。	・授業プリントNo.3 を配布する。
	・新聞を読む	個人	・今日の新聞に目を通す。	・新聞を配布する。
	・SDGs の 17 の目標を新聞記事から見つける。(18分)	個人	・SDGs の 17 の目標に関する記事を見つける。 ・SDGs の 17 の目標達成に向けた取り組み・内容のものは赤字、SDGs の 17 の目標達成に向けた課題・問題のものは青字で、付箋にコメントを書く。 ・コメントを書いた付箋をそれぞれの新聞記事の見出しの横に貼り付ける。	・付箋を配布する。 ・1 人４枚以上（赤字２枚、青字２枚）つぶやきを書く。 ・よりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、自分の考えを説明しようとしている。**(思考・判断・表現)**
	(7分)	班	・班で共有する。 ・自分では思いつかなかった意見があれば、付箋に黒字で書いて、自分の新聞に貼る。	
	(8分)	全員	・教室に貼られた新聞に付箋を貼る。(赤字と青字の付箋のみ) ・他の班の人の「つぶやき」を授業プリントに記入する。	・全体で意見を共有させる。 ・紙面を分担し、他の班の意見をメモさせる。 ・共有後、各班で付箋を取る。
	課題を解決するための方法を、３つの視点で考えよう。			
				・授業プリントNo.4 を配布する。
	・班で解決策を考える。(20分)	班	・付箋を、解決策（赤字）と課題（青字）に分ける。	・付箋を解決策（赤字）と課題（青字）に分ける。
			・課題のみを使い、解決すべき順番に並べる。	・優先順位の髪を配布する。
			・優先順位の高い課題から、「私たち」、「地域」、「国」の 3 つの視点で解決策を考える。 ・課題と解決策を授業プリントNo.4 に記入する。	・課題に対する解決策を書く。 ・新たな課題に気づくことができれば、付箋に課題を書く。

5分 まとめ	・本時の内容を振り返る。 ・課題の確認 ・次時の確認	一斉	・振り返りを書く。 ・課題を確認する。 ・次時の内容を確認する。	・ワークシートに振り返りを書かせる。 ・挨拶

(5)板書計画

めあて：SDGs の目標を達成するために、私たちができることを考えよう。

◎TO DO◎

①17 の目標に関する記事を見つける。

②付箋につぶやき、班名、名前を書く。

目標達成に向けての取り組みは赤字

目標達成への課題は青字

③見出しの横に付箋を貼る。

課題と解決策

※授業ではパワーポイントを使用します。